



飼料用「米」で育った鶏卵の白い黄身  
先月の本欄で「飼料用トウモロコシの高騰と「えさ米」

について記述したが、今回はその続きに触れてみたい。カブ写真ではないので、鶏の飼料トウモロコシ(玄米)をいれたいが、写真は卵は、直子専務理事が「米」で育てた卵である。



料中の約70%の代わり(八郷)の鶏肉生産部会に「飼料用米」を混ぜた用稲・麦の作付けとこれらの飼料で飼育している鶏肉の紹介を受けた。トウモロコシ(玄米)の従来飼料に比べて、脂肪が黄色みを帯びているが、味が良く、評判の良いことが報告された。

また、茨城県の「J.A.やき」と(八郷)の鶏肉生産部会に「飼料用米」を混ぜた用稲・麦の作付けとこれらの飼料で飼育している鶏肉の紹介を受けた。トウモロコシ(玄米)の従来飼料に比べて、脂肪が黄色みを帯びているが、味が良く、評判の良いことが報告された。

## 卵の黄身は薄かった

DME自動車普及推進委員会事務局長 若狭良治

また、その際、トウモロコシと国内産穀物との栄養比較も示され、トウモロコシと玄米が似た栄養成分であることが説明された。見た目は変わ

また、茨城県の「J.A.やき」と(八郷)の鶏肉生産部会に「飼料用米」を混ぜた用稲・麦の作付けとこれらの飼料で飼育している鶏肉の紹介を受けた。トウモロコシ(玄米)の従来飼料に比べて、脂肪が黄色みを帯びているが、味が良く、評判の良いことが報告された。

また、その際、トウモロコシと国内産穀物との栄養比較も示され、トウモロコシと玄米が似た栄養成分であることが説明された。見た目は変わ

また、その際、トウモロコシと国内産穀物との栄養比較も示され、トウモロコシと玄米が似た栄養成分であることが説明された。見た目は変わ



るが、栄養価としての問題はないのである。その後、「J.A.やき」のホームページを拝見したら、関東で初めての特定J.A.S認定を受けた地鶏を育てている

「畜産・酪農家は家畜排出物を完全発酵させて耕種農家に供給して、農家は稲わらなどから作ったたい肥と合わせて活用する。この循環により消費者に安全良質な農畜産物を供給することができ、また、同時に、家畜排出物の良質たい肥化により水と土壌の汚染が抑制され、耕

るが、栄養価としての問題はないのである。その後、「J.A.やき」のホームページを拝見したら、関東で初めての特定J.A.S認定を受けた地鶏を育てている

「畜産・酪農家は家畜排出物を完全発酵させて耕種農家に供給して、農家は稲わらなどから作ったたい肥と合わせて活用する。この循環により消費者に安全良質な農畜産物を供給することができ、また、同時に、家畜排出物の良質たい肥化により水と土壌の汚染が抑制され、耕

るが、栄養価としての問題はないのである。その後、「J.A.やき」のホームページを拝見したら、関東で初めての特定J.A.S認定を受けた地鶏を育てている

種農家も化学農業や化学肥料の使用を抑制していくという価値を確立する。また、生協や消費者段階での生ゴミ分別の徹底化により、飼料化と堆肥化を推進することで一層の地域循環が形成される。

そのような連携を一層進め飼料作物生産農家と畜産農家の給餌が実現できると、食料自給率の向上が可能となる。

さらに、家畜排出物のメタン発酵を通じて生成されるメタンガス活用による熱源や発電、さらにはエンジン燃料にまで利用拡大することも可能となる。このような食料自給

**トウモロコシと国内産穀物の栄養成分比較**

品別	水分	粗たんぱく(消化率)	粗脂肪(消化率)	粗繊維(消化率)	粗灰分
トウモロコシ	13.6	8.0(70%)	3.8(94%)	1.7(0%)	1.3
玄米	13.8	7.9(70%)	2.33(84%)	0.9(70%)	1.4
小麦	11.5	12.1(84%)	1.8(81.4%)	2.4(47%)	1.7
大豆	11.5	36.9(92%)	18.9(84%)	5.5(74%)	4.9

J.A.野菜と鶏肉生産部会 作成資料より

さらに、畜産の中でも肉牛育成への飼料供給は政策面で恩典が多いが、養鶏への飼料供給の恩典は低めに抑えられているなど、価格の優等生であった鶏卵の先行きに不安が残るという意見もあった。

しかし、そのような状況の中でも、今回のような「討論会」が開催され、参加者一同が同じ考え方を共有し、耕畜連携の取り組みを深化させていく方向性が出てきたことは、「先行きが明るいということか」と二人合意だが、なんとなく納得した一日であった。